

会議の要旨（議事録）

会議の名称	第1回鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議		
開催日時	平成27年4月25日(土)	開催場所	鳥栖市役所 2階第2会議室
出席者数	委員 7人 事務局 6人 市 12人 九州経済調査協会 2人 (会議運営支援)	傍聴人数	0人
議題	1 開会 2 市長あいさつ 3 委嘱状の交付 4 会長・副会長の選出 5 鳥栖市版総合戦略策定とスケジュール等について 6 その他		
配布資料	【資料①】 会議次第 【資料②】 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員 【資料③】 まち・ひと・しごと創生法の概要等 【資料④】 まち・ひと・しごと創生総合戦略—概要— 【資料⑤】 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン—概要— 【資料⑥】 鳥栖市における「まち・ひと・しごと創生」に関する基本方針について 【資料⑦】 鳥栖市まち・ひと・しごと創生本部等に関する体制図 【資料⑧】 鳥栖市の人口増加の背景と将来推計について 【資料⑨】 鳥栖市版総合戦略（イメージ図） 【資料⑩】 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議開催スケジュール 【資料⑪】 鳥栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定スケジュール案		
所管課	(課名) 総合政策課 (電話番号) 85-3511		

第1回鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議議事録

1 開会

事務局（総合政策課長）

2 市長あいさつ

- ・地域の中でいかにお金を回していくか、そしてこの地域でこどもを産み育てたいと思ってもらうためにどのような取り組みを進めて行くかが一番重要になってくる。こどもが生まれないと消費も生まれえない。また生産労働人口が増えないと消費はでてこない。
- ・地域に根差した企業をどう産み育てるかという視点が必要。
- ・鳥栖の立地特性上、九州が元気になるために私たちはなにをしなければならないかという視点も必要。
- ・鳥栖ならではの取り組みを行っていければと考えているので、よろしくをお願いします。

《次鳥栖市版総合戦略の策定支援を行う公益財団法人九州経済調査協会の田代部長より挨拶》

（田代部長）

- ・地方版（九州）のシンクタンクとして活動している
- ・九州山口沖縄の131の都市を分析した結果、8割方人口減少していくなかで、11だけ元気な自治体があり、その一つが鳥栖。
- ・鳥栖はまちなか回帰のキーワードである駅周辺の開発の余地があり、企業の進出意欲も高い、さらに都市と自然が調和しているので暮らしの環境を整えれば人も呼び込みやすい。
- ・国は、地方創生の成功事例を求めていると思われ、鳥栖は極めて成功事例になり得る可能性が高いので、皆様の力を合わせて取り組んで行きたい。

3 委嘱状の交付

委員については、資料②参照。

4 会長・副会長の選出

（事務局） 「鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱」において互選ということで定めているが、初回であり初顔合わせということから、事務局のほうで案をご提案させていただきたい。

（委員） お願いしたい。

（事務局） 会長は、学識経験者としてこれまで鳥栖市商業活性化協議会の会長を務められ、地方における若年層の定住化の調査をされている佐賀大学経済学部准教授の戸田様、副会長は、市民団体代表として、地域の代表である区長会長の増田様をお願いしたいと考えている。

（委員） 異議なし。

会長：戸田 順一郎氏 副会長：増田 悟氏 に決定。

（戸田会長）

- ・大学で経済地理学や地域経済学を教えている。佐賀大学に赴任して10年目であり、鳥栖市民でもある。
- ・鳥栖市が多くの人に選ばれるまちになるために議論していきたい。

（増田副会長）

- ・副会長として、しっかりと会長を補佐していきたい。

5 鳥栖市版総合戦略策定とスケジュール等について
配布資料③～⑩に沿って説明。添付資料参照。

(芹田委員) 鳥栖市が住みやすい都市にするために各種施策を展開するのと併せて、鳥栖市が住みやすい都市であることをアピールする戦略も考える必要があるのではないかと。鳥栖市が住みやすい都市であるということを知りたがる人は、市外の人にはあまり知られていない気がするので、直接的な施策と同時に広報戦略も考えてみてはどうだろうか。

また、鳥栖市は地理的優位性がある九州全域から人が集まるような会議を行うだけのポテンシャルもあり、数百人が集まるような大きな会場は文化会館のような施設があるが、そこから分科会で100人程度の複数の会場に分かれて…となったときに適当な会場が乏しく、チャンスを逃している。

今回の戦略では鳥栖駅周辺の開発に関するテーマが主眼であるかもしれないが、鳥栖市のもう一つの顔であり、まだ十分開発も進んでいない新鳥栖駅との機能分担も視野に入れて戦略を考えてもらえたらと思う。

(事務局) 広報戦略については、ご指摘のとおりで、定住人口や交流人口の拡大、観光といった部分と連動して取り組んでいくべきテーマであると考えている。鳥栖駅と新鳥栖駅の機能分担については今後の検討課題とさせていただけたらと思う。

(戸田会長) 今後のスケジュールについて、第2回、第3回の会議ではどのような形で審議をするのか、テーマ別に区切ってやるのか。全てのテーマを第2回、第3回と議論していくのか。

(事務局) 第2回から全編について討議していただき、それを踏まえて第3回に修正案を提示して検討していただく方針である。